

伊予市

# じんけん教育

2006  
No. 3

～ 一人一人の人権が尊重される、明るい伊予市をめざして ～

編集・発行／愛媛県人権教育協議会伊予市支部・伊予市教育委員会 (〒799-3113 伊予市米湊768番地2 ☎089-982-5155 内線737)



近頃、家庭や地域で人と接する機会が少なくなり、子どもたちは人とかかわる力が弱まっていると言われています。

そこで、からたち幼稚園ではいろいろな人と出会う喜びを感じたり、一緒に触れ合って遊ぶ楽しさを味わったりしてほしいと願い、ふれあいデー「お父さんと遊ぼう」を実施しています。仕事や家庭の都合で参加できないお父さんもありますが、自分

のお父さんだけでなく、できるだけたくさんのお父さんとかかわれるよう配慮しています。

今回は、室内で魚釣りをしたり、腕相撲をしたり、段ボールの家づくりをしたりして、触れ合い遊びを楽しみました。初めて出会うお父さんに恥ずかしがる幼児や、どう接していいのかわからず戸惑うお父さんもいましたが、少しずつ慣れ、一緒に歓声を上げて楽しむ姿が見られるよ



**お父さんと遊ぼう！**  
—身近な人とかかわりを通して—

からたち幼稚園



うになりました。幼児は、肌と肌を触れ合いながら全身でぶつかったり、甘えたりすることを喜びました。お父さんは、できる限り多くの子どもとかかわろうと努力したり、本気になって子どもたちと向き合ったりしていました。

幼児はこの触れ合いの中で、お父さんの頼もしさや優しさを感じることでできたと思います。また、お父さんは家庭とは違う子どもの様子や、友達とかかわりも見ることができたのではないのでしょうか。

こういう機会を大切にして、お父さんにも育児に参加してもらい、地域・家庭・園が一体となって、子どもたちを見守り、人とかかわる力を育んでいきたいと思います。



■ やさしいお父さんと

# 人権・同和教育の取組

## ―日々の学校生活を通して―

### 伊予市立中山小学校



## 誕生日紹介

中山小学校では、教育活動の重点項目の一つ、「仲間意識を育てる集団づくりの推進」の中で、「一人の願いは、みんなの願い」を合い言葉に、仲間意識をもたせ、互いに認め合い、戒め合い、支え合う集団の育成を第一に掲げて取り組んでいます。

## 縦割り班活動

毎年四月初めに、全校児童を赤・青・黄色の三色グループに分け、一年間の活動に向けての取組ができるようにしています。

週に一回は、全校児童が一緒に遊ぶ縦割り班活動を充実させています。また、「一年生を迎える会」「お楽しみ集会」「運動会」などの行事では、三色対抗で競い合い、楽しく活動しています。これらの取組を通して、思いやりの心を育む集団づくりや、共に悩み、共に考え、共に力を合わせ様々な課題を解決していくこうとする仲間づくりに努めています。

「一人一人を大切に育てる教育」の一環として、毎月、誕生月の児童の個人撮影をし、校内に掲示するとともに、全校児童の誕生日にあわせ、テレビ放送で、名前に込められた思いや「自分の好きなところ」「将来の夢」などを発表してきました。

今年度は、学校通信で、「好きな本」の紹介をしたり、学級通信では、『心をこめてコーナー』を掲載して児童のすばらしい一面をお知らせしたりしています。

このことは、一人一人の子どもには、それぞれのよさがあり、周りの子どもにも、そのよさを気付かせることが、お互いに認め合う仲間づくりにつながっていくと考えているからです。

家庭への啓発を通して、保護者の方にも児童一人一人が認められ、大切にされる本校の教育活動にご理解とご協力をいただいています。

## うきうき集会

うきうき集会では、各学年が年に一回、各教科、道徳、特別活動や総合的な学習の時間で学んだことを発表します。ここでは、身の回りにおける様々な問題点に気づき、その解決に向けて、努力していくこうとする意欲や実践力を培うことや、共に生きることの大切さを認識させることに力を入れています。また、この集会では、児童が自分の考えを自由に述べたり、他の人の考えをよく聞いたりすることができる雰囲気づくりにも努めています。



■ みんなで楽しく「うきうき集会」



# 愛媛県人権教育協議会伊予市支部総会

2006年6月8日(木) 伊予市市民会館

開会行事で、上田支部長は、「人類の幸福が実現するという願いが込められて、この世紀を『人権の世紀』と呼び、国連を中心に人権確立を目指して続けられてきた様々な努力が、一斉に開花する世紀になるように、みんなが力を合わせて頑張りたいと思います。」と、あいさつをしました。

つづいて、総会行事に移りました。



■ 総会風景

今年度の基本方針として、二十一世紀を「人権の世紀」として、同和問題を始め、あらゆる人権問題の一日も早い解決を目指し、また、幸せな社会を築くために、市民一人一人が人権・同和問題について、関心を深めるとともに、人権感覚を高め、自分自身や他人の人権を尊重する教育及び啓発活動に力を入れていくことを確認しました。

## 記念講演

### 「人権尊重は家庭から」

前 愛媛県公民館連合会 事務局長  
寺澤 房 和 さん

「誰かがよければ、誰かが悪くなるのが世の中です。自分がよくても他人がよくない。そんな時にどうすべきか。思いやりの気持ちを巡らすことが大事であって、ここが、人権問題の出発点です。市町合併をした今が、人権が根付き、発展していく出発点になります。どうか、みんなで人権問題をしっかりと考えてください。」と、印象に残る切り出しで、講演が始まりました。

話題は、高齢社会に移りました。「現在の豊かな社会は、今高齢になられた皆さんの努力で築かれました。その方々に感謝し、皆さんの持つておられる知恵やノウハウを授かって、人権教育を発展させていただき



■ 分かりやすく、楽しく話されました

たい。」と、強調されました。

つづいて、公民館の任務・地域の教育力・家庭教育についての話題にはいりました。

「公民館は、多くの人とかわり、地域の人々の顔と名前が一致することが大事です。そうならば、あいさつや声かけとなり、地域の教育力として機能します。」また、「各家庭が夢を持って、生活できるよう、応援するのが地域社会の役目です。家庭のプライベートに踏み込むことは禁物です。しかし、隣人と話やコミュニケーションのとりにくい家庭、家族に病人や体の弱い人のいる家庭、経済的に電話の設置ができない家庭等については、みんなが気配りをしてあげられる地域をつくっておくことが大事になります。気軽に会話ができる人間関係づくりが、社会教育の根幹です。」と、話されました。

さらに、話は親の子育て論に進みました。「親は、子どもにも夢を持たせながら育てねばなりません。『この子は何が伸びるのか。また、伸ばすべき芽は何か。』それを見抜ける親になっていただきたいのです。そして、ものの言える子ども、自分自身を好きになる子どもを、育てていただきたいのです。そのためには、ほめて、認めて、自信をつけてあげることです。子どもへの思いやりの気持ちを込めた言葉でほめてあげることが子育ての秘訣です。」と、示唆されました。

# 第五十三回 四国地区人権教育 研究大会に参加して(参加者の感想)

二〇〇六年六月二十九日(木)・三十日(金) 高松市

「地域の人権教育力のあり方は?」

私が参加した第四分科会Cは、「人権確立をめざす地域の教育力」をテーマに開催された。四国各県から報告が行われ、地域の実情に合わせて工夫された実践報告は重みがあった。

長年にわたる取組に裏打ちされた報告内容は参考になる点が多く、参加者は、その成果を学び取ろうと、熱心に討議をした。

その中で、従来の流れとは異なる報告が高松からあった。報告者は、社会福祉協議会の職員で、地域の高齢者の閉じこもり防止のための、「やすらぎ喫茶」や「生きがい教室」などの取組についての内容であった。社会福祉協議会の職員が報告を行ったことは、これまでの私の記憶にはなく、その点でも興味を引くものであった。

報告のあった取組は、高齢者の閉じこもりによる「心の病」や、「自殺」の発生を解消しようとすることを目的とするもので、これまでの「人権意識の高揚」を基本的に置き、差別意識の解消を目指すものとは目的の相違があるように感じられた。閉じこもりを防止して命を守ることは大切なことであり、どの地域でもこうした実践ができれば、素晴らしいことである。しかし、この取組が「人権を確立して差別を解消する取組」にどうつながるのだろうかという疑問が、心の中に残った。

これは、人権教育の新たな取組なのか。私は、新たな流れに取り残されようとしているのだろうか。

もう一つ、気になった発言が会場の参加者からあった。その人は第

一線において人権・同和教育を三十年以上実践しているということであったが、今回の報告から、得るものが少ないとの感想を述べ、やや批判的な発言内容であった。しかし、この大会は研究大会であり、会場内の参加者から他の参加者への情報提供や助言は大いに結構なことである。報告内容が取組不足と感じたなら、経験を基に会場内からアドバイスをしてもらいたかった。

ともあれ、実践に基づく確かな意見発表が多く、大いに参考になった大会であった。十二月に松山市で開催される全国大会への期待が大きくふくらんだ。



■ 開会行事・全体会風景



■ 響心太鼓 (香川県立聾学校生徒による演奏)



# 平成18年度 双海地域 ふれあい懇談会開催



■ 意見に耳を傾ける参加者のみなさん

史のある懇談会です。今年も、参加・体験型のワークショップを中心に人権・同和問題を解決するための学習を行っています。

「身元調査おこわり運動」の推進についても説明をし、参加者の理解を求めました。人権侵害、結婚差別につながる行為は、「しない、させない、協力しない」ことが大事であることを皆さんに理解していただきました。

例年と同じように、よい雰囲気の中で真剣な学習ができました。人権を大切にする考え方や発想の転換方法、また、ゆとりをもって、他人の人権を大切にすることを学習しました。

参加者は、「今日学習したことを、自分の生活の中で生かしたい。」と、感想を述べていました。

八月十日は十六公民館で、また、八月二十四日に十三公民館で実施しました。

期日未定の公民館は、決まり次第実施する予定です。

昭和四十九年に始めてから、三十余年の歴史

## 第八期オピニオンリーダー養成講座に参加して

「オピニオンリーダー養成講座という言葉は、かたい感じがしました。少し肩に力が入りましたが、実際は和やかな雰囲気勉強になりました。」また、「今回の講座を通して、自分の持つ偏見に気付き、本来の自分向き合えてよかったですと思います。研修の大切さを感じました。これからも、機会を見つけて研修会に参加したいと思います。」等と、参加者は、それぞれに感想を話されていました。

同和問題の元は、人間の心の弱さにあると聞きます。人は生まれて以来、いろいろな人と出会い、生活体験を積みながら、成長します。年齢を重ねるうちに、本人は意識することもなく、心の中へ偏見も入ってきます。それが、差別的言動につながってしまう恐れもあります。偏見の芽をつみ取るためには、研修が大切です。



相手の気持ちを大切にしながら、自分の思いを述べてみました。

限られた情報で判断し、自分の思いこみで決めてしまうことのこわさを考えてみました。



人権・同和問題の歴史について学習しました。「部落史の研究が進み、10年前に比較して新しい事実が分かり、驚くとともに、学習の整理ができました。参加して勉強になりました。」と、参加者からの感想も聞かれました。

本年は新しい講師も迎え、四十三名が五回の講座を終えました。日常生活の中で、同和問題の解決に、今回の研修を生かし、自分にできることから実践していく気持ちを大きくふくらませて終了しました。

# ワークショップ ちがいのちがい



自分たちの生活の周辺に次のような場面を見たとき、どう考えますか？

○△×を入れてみましょう。また、どうしたいと思いますか。

○：あってよい △：どちらともいえない ×：あってはいけない



〇〇社では、先輩は掃除をしないが、後輩は、掃除をしなければならない。



あなたはどうしたいと思いますか。

.....  
.....  
.....

「掃除をしなければならない。」この決めつけには、不自然さを感じます。先輩、後輩が互いに人として、尊重しあえるバランスのとれた人間関係を築きたいものです。

あなたはどうしたいと思いますか。

.....  
.....  
.....



一輪車の練習は、上手に乗れるA君が、うまく乗れないB君よりも先にしている。

「B君、先に乗って。手をもってあげる。もうすぐうまく乗れるのだから。」B君を勇気づけ、友達として協力しあえることが、人権を大事にした友人関係になります。

## 「第8回 人権を考える市民の集い」が開催されます

と き 平成18年11月3日(金) 9:00~12:00

と ころ 伊予市市民会館大ホール(入場無料)

記念講演 講師

講談師／<sup>たから</sup>宝 <sup>い</sup>井 <sup>きん</sup>琴 <sup>あう</sup>桜 演 題／「山下さんちの物語」

【講師プロフィール】

1968年／田辺一鶴に入門。1969年／宝井馬琴門下の内弟子となって修行する。1975年／女性初の真打ち昇進。1996年／95年度東京女性財団賞受賞。介護問題を鋭い名調子で取り上げ、また、さまざまな社会問題に正面から取り組んだ創作講談で知られる。現代の女性問題について語る「山下さんちの物語」に期待しましょう。

多くの人のご参加をお待ちしています。



## 「第58回 全国人権・同和教育研究大会(愛媛)」

大会テーマ 差別の現実から深く学び、生活を高め、未来を保障する教育を確立しよう

地元テーマ みどりの山 あおい海 愛媛から発する人権文化  
～人類の未来は人権にかかるとるぞなもし～

期 日 2006年12月2日(土)・3日(日)

会 場 ○全体会／県内参加者(県民文化会館) ○分科会／松山市内(31会場)  
○全体会／県外参加者(愛媛県武道館)

参 加 費 資料代、研究集録代等 4,000円  
不明な点は、伊予市教育委員会社会教育課までお問い合わせください。(☎089-982-5155)